

## カリフォルニアの風（夏休み号）

「あなたは、どう宿題に取り組みますか。」

集中学習中も、子どもたちのサポートをしていただきありがとうございました。

「特別プログラム」の実践中、子どもたちから「予想外の学びがあった」「新たな発見があった」という言葉がありました。「これまで見えていなかったことが、見えるようになった」と汲み取っています。子どもたちは一生懸命考えることをし、今では新たなことに興味を持ち、「〇〇を調べてみたくなった」「◎◎のことは国語の学習に生かしたい」など、新たな「学び」を始めています。夏休み中も、「学び」が止まることのないようにと、願っています。

将棋の藤井聡太さんは、主題が「あらゆる可能性を育む環境の重要性」の懇談会で、「どのような家庭環境で育ち、集中力を養いましたか」と問われ、「興味を伸ばすようにいろいろサポートしてくれた」と応じています。藤井さんは駒を打つとき、時間をかけて考え、あらゆる可能性を検討しています。また勝敗が決まると、その場で「よかったところ、よくなかったところ」を振り返り、即座に次の対戦の準備に取り掛かっています。藤井さんは、一生懸命考えることで勝ちに通じる軌道を見つけ、その軌道が勝敗の結果にどうつながったかを学び、次の軌道のあり方を考えているように思われます。きっと一生懸命に考えることが、面白くて楽しいのだと思います。

夏休みに入りました。夏休みは本を読んでください。本を読むことは「学び」です。夏休み明けに「ブックトーク」をしましょう。自由研究にも取り組んでください。自由研究のテーマは、「特別プログラム」で関心を持ったこと、これまでの自由研究で疑問に思ったことをさらに深く調べるといっても、面白くて楽しそうです。「なぜこのテーマにしたのか」「調べてみたら、新しい発見があった！」などをまとめていく過程で、あなたは一生懸命考えることになります。面白くて楽しいを実感してください。それと宿題にもきちんと向き合ってください。宿題を恐れ、気が気でない心で夏休みを過ごすのではなく、「全て、最後までやり遂げた！」という気持ちになってほしいと思います。そこで、「やり遂げたい！」がかなうよう、以下にまとめてみました。「いつもやり遂げています！」という人にも参考になるかもしれません。

宿題を最後までやり遂げるため、まずは、あなたがやると決めている宿題全てを机の上に広げます。次にそれらの宿題を、下の方から積んで段々に高くして「縦（たて）」にまとめます。積み重ねる順序に決まりはありません。あなたが決めた順に「縦」にまとめていきます。積み重ねながら、「漢字は全部で幾つぐらい練習するのか」など、宿題の内容をもう一度頭の中に入れていきます。全ての宿題が「縦」にまとまったら、準備完了です。早速、取り掛かります。

取り掛かるポイントは「毎日」「全てを」「少しずつ」です。

「毎日」とは、あなたがやると決めた日のことを指しています。旅行中やお休みの日は「やらない」ということも自分で決めます。いつやるかは、あなた自身で決めてください。

次は、「少しずつ」の取り組み方です。

読書感想文に取り組むなら、初日は、原稿用紙に名前だけを書きます、翌日は本の題名を書きます、次の日は感想だけを書きます、たとえば「胸がわくわくした」というように、その次の日は、そう感じた理由だけを書きます、たとえば、「次に何が起きるか、楽しみだったから」というような進め方です。

漢字練習に取り組むなら、初めに決めた「◎個書く」を、毎日やり続けます。

その日の分を済ませたら、眠りましょう。「よくがんばったね！」「ゆっくり休んでくださいね。」

一晩眠りました。すると、昨日までは「胸がわくわくした」の感想だけだったのに、今日になったら、「勇気が湧いて来た」というような新たな感想が浮かんできていることに気付くと思います。不思議です。他にも感じたことが幾つか浮かんできて、書くことが嫌でなくなっていくます。また、これも不思議なことですが、「全てを」「少しずつ」「毎日」続けていくと、宿題に取り組むことが当たり前になってきて、宿題を進んでやるようになっていきます。もう宿題を恐れることもなく、宿題のことが気にかかって落ち着いていられないということもありません。

この方法は、一つを終えたら、「縦」にまとめた一番下に戻し、次に一番高い位置に上がってきた宿題に取り組んでいます。全ての宿題を取り組み終えたとき、一番始めに取り組んだ宿題は、一番高い位置に上がってきています。その時には、自分自身を称え、お家の人に「今日の分は終わったよ！」とお話してください。これを毎日続けると、宿題を毎日決まった時間にしていることに気付くと思います。

他にも、この方法にはよいところがあります。全て「少しずつ」ですから、全てを終えるのに必要とされる時間が少なくてすみ、そのためどんなに宿題の量が多くなっても、やり遂げる望みが大きくなるということです。

ところで、宿題に取り組む方法を考えることは大事なことはありません。

「縦」にまとめるという方法は一つの提案で、「やりなさい」というものでもありません。

あなたが自分で考え、判断した方法で挑戦してみることが大事なのです。

そしてもっと大事なことは、宿題をやり遂げることに挑戦し、挑戦した結果から「よかったところ、よくなかったところ」を振り返り、改善につなげていくことです。

またさらに重要なことは、改善した方法で挑戦していくことです。

あなたの夏休みです。新しい方法にも挑戦し、「できないと思っていたことが、できるようになった」という「体験」ができることを祈っています。

それでは、事故無く、怪我無く、健康で、たくさんの「学び」をする夏休みになりますように。またお目にかかり、元気な声であいさつを交わしましょう！

恐れ入りますが、夏休みも子どもたちへのサポートをどうぞよろしくお願いいたします